

平成 25 年 10 月 14 日に開催した「市民事業交流会」の内容は次のとおりでした。

名 称	市民事業交流会（「もり・みずカフェ ー水源環境保全・再生に取り組む市民団体活動展ー」）
委員出席者	増田 清美、萩原 なつ子、服部 俊明(市民事業専門委員会) 足立 功、久保 重明、井伊 秀博、坂井 マスミ、高橋 克矢(県民フォーラムチーム・コミュニケーションチーム)
開催日時	平成 25 年 10 月 14 日（月・祝） 10:30～16:30
開催場所	新都市プラザ（そごう横浜店地下 2 階正面入口前）
出 展 者	もり・みず市民事業支援補助金補助事業者 15 団体・39 名 （欠席 8 団体）
内 容	<p><b>1 開会あいさつ 増田委員長</b>            昨年度より、県民に開放した「市民団体活動展」を開催している。今年度は新たな試みとして、団体の皆様との意見交換会を開催する。午後からは、来場者そして新都市プラザを行き交う方々へ向けて、皆様の日ごろ活動について発表していただく。            ぜひこの機会に、団体間の交流を深めるとともに、県民に対して積極的に団体活動の PR を行っていたきたい。</p> <p><b>2 市民団体活動展（10:30～16:30）</b>  <b>（1）各補助団体による出展</b>            ①団体活動紹介ポスター、写真の展示            ②チェーンソーアート作品、間伐材製品等の展示            ③水質調査結果・調査地点写真の展示            ④水質調査の体験            ⑤水生昆虫などの観察            ⑥竹製品のプレゼント など</p> <p><b>（2）県・県民会議による出展</b>            ①水源環境保全・再生施策紹介パネルの展示            ②補助団体を紹介した冊子の作成・配布            ③着ぐるみ「しずくちゃん」及び「かにやお」（NPO 協働推進課）による演出            ④各種広報資料の配布</p> <p><b>3 ワールド・カフェ方式による意見交換会（11:00～12:30）</b>            ①第 1 ラウンド(20 分)            問い「現在実施している活動を、より発展させていくためには、何が必要か」            ②席替え(テーブルに 1 人残して)            ③第 2 ラウンド (20 分)            問い「それらを実現するため・実行するためのアイデア」            ④席替え(第 1 ラウンドのテーブルに戻る)            ⑤第 3 ラウンド(20 分) 第 2 ラウンドと同じ問いで意見交換</p> <p><b>4 閉会あいさつ 増田委員長</b>            本日は 529 名のアンケートを収集できた。アンケートの結果や、県民・参加団体の皆様からいただいたご意見を元に、平成 26 年度以降も市民事業交流会を開催したいと考える。今後も、市民団体の皆さんの取組が拡大・拡充し、水源環境保全・再生の取組が進んでいくことを期待する。</p>



<来場者への活動紹介>



<インタビュー形式による活動紹介>



<意見交換会の様子  
(そごう横浜店9階 ミーティングルームにて)>



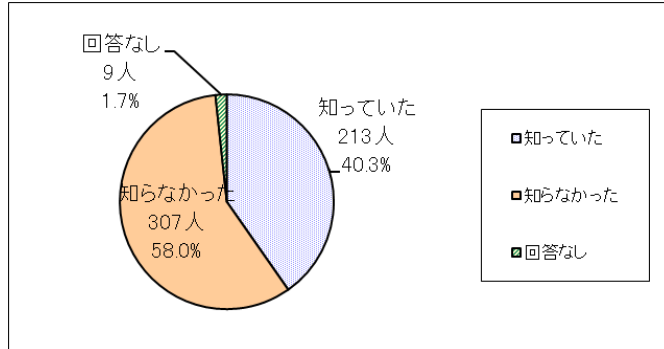
<「しずくちゃん」と「かにやお」による来場者とのふれあい>

## 平成25年度市民事業交流会 アンケート集計結果（県民）

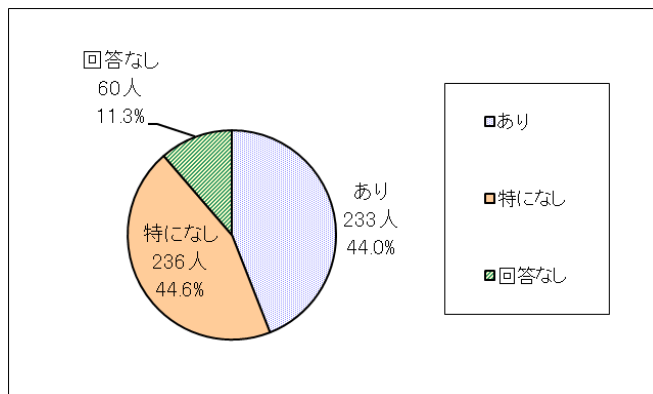
今後の取組の参考とするため、交流会にご来場いただいた県民の方々にアンケートをお願いしたところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

### ■回収したアンケート数…529枚

Q 1 市民団体が水源環境保全・再生の活動を実施している事を知っていましたか。



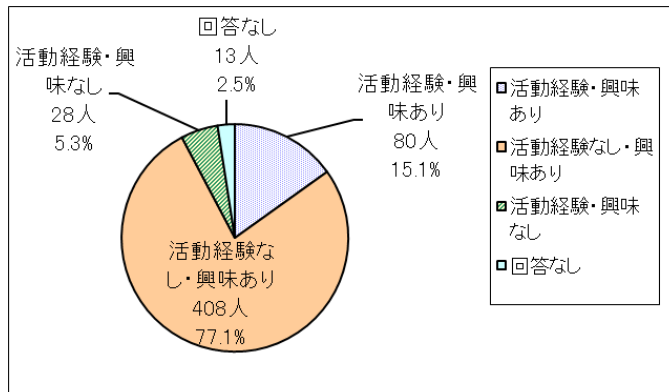
Q 2 出展内容が特に良かったという団体はありますか。



特に良かった団体(上位8団体まで)

団体名	票
NPO 法人自遊クラブ	31
NPO 法人丹沢森の仲間たち	20
NPO 法人かながわ森林インストラクターの会	18
NPO 法人日本の竹ファンクラブ	18
丹沢森林環境研究所	17
NPO 法人海の森・山の森事務局	17
海老名里山づくりボランティア山仕事の会	15
中津川仙台下クラブ	15

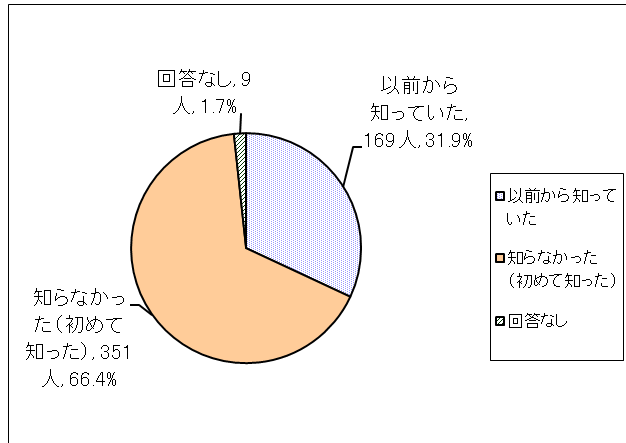
Q 3 水源環境保全のための市民活動を行っていますか（過去の経験を含む）。  
また、こうした活動に興味がありますか。



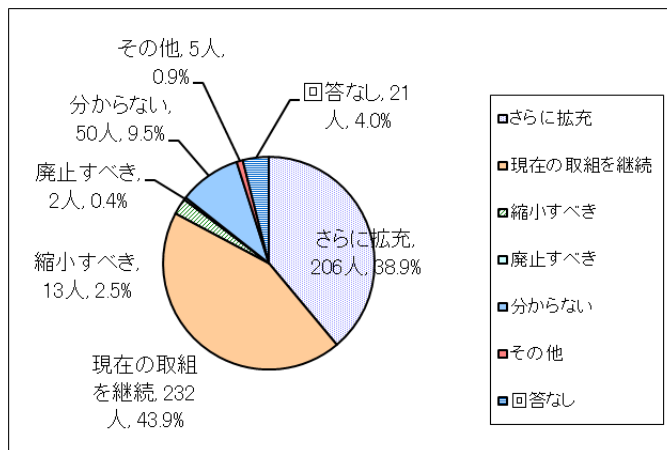
具体的な活動内容(「経験あり」回答者)

- ・川のゴミ拾いをしていた。
- ・県民参加の下刈、植樹、間伐等。

Q 4 県では、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を財源に、水源環境保全・再生のための取組を行っています。このことについて、ご存知でしたか。



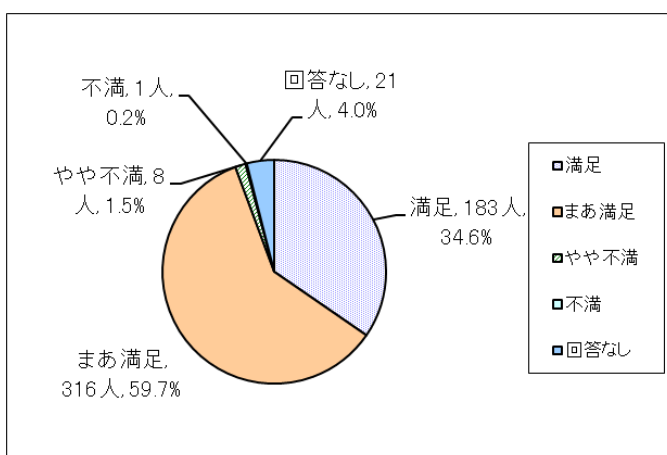
Q 5 「水源環境保全税」を活用した水源環境保全・再生事業は、今後どうしていきべきだと思いますか。



「その他」回答者の主な意見

- ・緑地の購入。
- ・今現在の取組が分からないので意見が言えないのですが、縮小はすべきではないと思う。
- ・ボランティア団体の活動をもっと県がPRして欲しい。

Q 6 本日のイベントはいかがでしたか



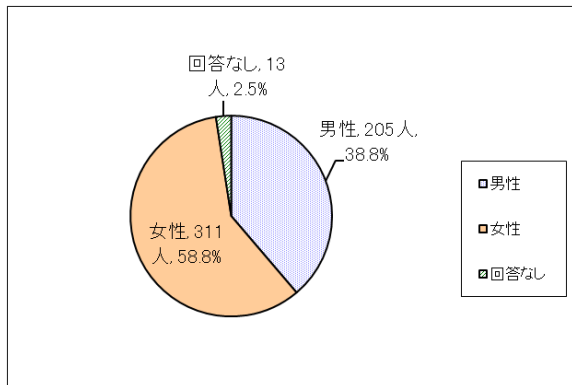
「満足できた点」の主な意見

- ・NPO法人の皆様の熱心な取組の説明を聞いて、改めて関心を持つことができました。
- ・水源環境を守る為に多くの団体が活動している事を知ることができた。
- ・都市部で活動している団体と、水源地域のNPOと連帯出来る可能性が見えてきた。
- ・色々な人達が森や水を守り、活動している事を知り、いい機会だった。
- ・楽しみながら交流出来て、役立てる事は良いなどと思った。

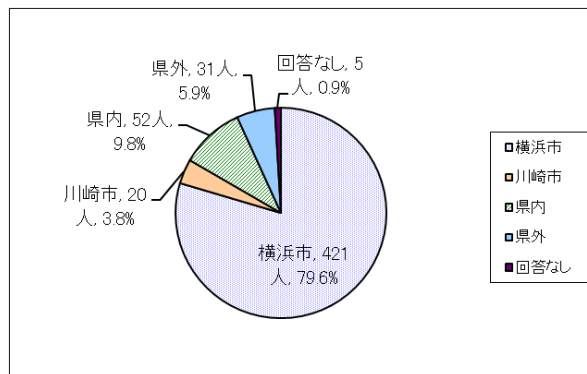
「不満だった点」の主な回答

- ・場所が狭かった。
- ・ビデオやメディアをもっと活用できればリアリティが湧くと思う。
- ・現実的に何を活動しているのか分からない団体がある。
- ・もう少し子供が参加できるイベントがあっても良かったと思う。

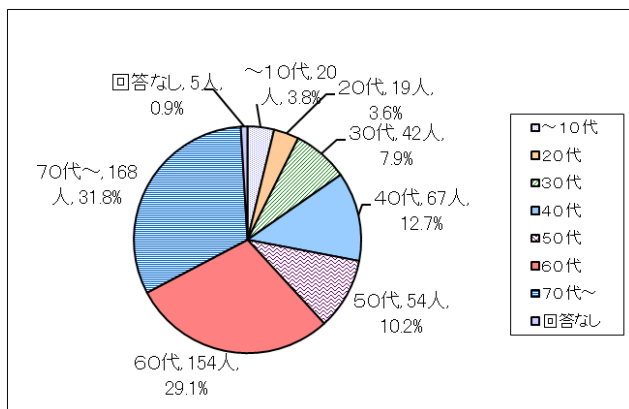
### Q 7 性別



### Q 8 お住まい



### Q 9 年齢



## 市民事業交流会(来場者)アンケート記入項目

### 設問2. 出展内容が特に良かったという団体について

団体番号	コメント	団体番号	コメント
1	活動が本格的	5	写真がきれい 活動内容が明確で高レベル
2	多くの里山保全を実施している	6	子供向けの活動＝親もついて来る、裾が広がる
	山仕事という言葉に興味をもった		子供の教育が自然保護に重要です
	里山での材料を使っのオブジェが良い		顕微鏡で川虫の綺麗さを知った
	実家に近い所で活動しているのに知らなかった		具体的な内容で興味もたれる
	詳しく説明してもらった所		広げて欲しい
	説明が良かった		若い人達に多く学んで頂きたい
	小さい物作りが好きです		身近な川の生物の研究に興味を持てた
	里山整備は重要		
3	分かりやすい	7	どんぐりのディスプレイが可愛かった、種を見せてくれた
	実験など積極的に目を引いたから		良く説明し楽しかった
	団体及び県民会議委員の説明も分かり易く良かった		森林が育つ所に良い水(地下水)が出来る
	川の浄化作用		興味を引かれたものがあった
	水の管理人		植物の保守・保全そして変化を研究している所
	パックテスト		沢山の花がある事を知った
	川の水を研究している所		種の色々とか、新松田で取れた種をくれました
	森林を育てる		どんぐりアートが可愛い
	水が山の土でろ過されてきれいな水になる		体験教室などがあって、自然の良さを子供の頃から感じられる
	水質調査		具体物の展示
	水質調査が良かった		なじみがあった
	森の話を沢山聞けました		
勉強になった			
4	木工製品(再利用)	8	今みんな住宅とか切り開いている
	森林ボランティアに興味がある		ためにになった
	楽しそう		子供向けの活動を行っている所
	活動について色々説明を聞いた		
5	水の美しさ、大切さが分かって良かった	色々体験が出来る	
	写真が目を引いた	素晴らしい活動をしている	
	水中写真の素晴らしさ、四季折々の水が綺麗		
	川の水の中から撮った写真を展示していて、とても良いと思った	とりつきやすい	
	水の中の写真が綺麗で初めて見ました	作品が可愛い	
	写真がきれいでした	作品が面白い	
	ためにになった	トンボが良かった	
	キレイな写真を見て、これを継続させなければと思いました	活動内容が良くわかった	
	今まで見たことがなかった	木の模型	
	今まで見たことが無い写真で良かった	作品が展示してあり、とても興味深かった	
	水中カメラより普段見ることの出来ない川の姿を知る事が出来た。水質を守る事を水中に潜りながら映し出す素敵な活動をしているなど感銘致しました	動物がとても可愛いこと	
	癒される		
	木材の利活用		



団体番号	コメント
10	名称が良い
	今後廃材をどうするか？問題
	説明が良くわかった
	様々な木製品を展示していて楽しかった
	子供にも楽しいものがあった
	枝まで大事にしている
	使い道がある
	工作が良かった
	森を大切に
	子供連れで楽しめる
	楽しかった
	木の枝の鉛筆、赤鉛筆等木で作った物がすてきでした
	子供が楽しそうだったから
	子供が楽しそう
木材の利活用	
12	河原の自然を戻したい
	活動に共感した
	活動内容を詳しく説明して頂いた。キャンプが出来るようになっており、機会があったら、利用させて頂きたいと思いました
	水源環境改善に役立っている
	本来の水源環境改善に直接たずさわってくれている
	県が目的とした事業
	昔の中津溪谷を更生させる苦勞
	担当者が一生懸命説明してくれた
	大変な仕事で水を大切にする1歩が分かりました
森林整備	
13	生命力がすごい、日本中にある
	展示作品が魅力的
	説明が良かった
	竹が大好きです
	活動内容が面白いから
	色々なクイズがある
	竹の有効利用
	竹を使った色々の物、ぞうりを始めて知った
	欲しいものがあった
	竹の素材が良かった
分かり易く説明してくれたから	
14	竹林に良く行くから
	カブトムシの幼虫など見れない生物が見れた
	昆虫を見た
	虫にビックリ!!
	地道な実践活動

団体番号	コメント
15	里山での色々な活動が楽しく伺えた
	植物の育成、子供達への色々な体験で自然の大切さを伝えている所
16	全て良かった、色々な物があったから
	普段見られない物が多いのでどの内容も良かった
	各出展ともに大変良かった
	活発な行動に対して
	ALLすばらしい
	話を聞いて団体すべてに感謝している
	がんばっているから
興味が沸きました	
	全部に興味あり

\* 11番はコメントなし

### 【団体番号一覧】

1	“やどりき水源林”活動グループ
2	海老名里山づくりボランティア山仕事の会
3	丹沢森林環境研究所
4	NPO法人ウッドボイス
5	NPO法人海の森・山の森事務局
6	NPO法人神奈川県環境学習リーダー会
7	NPO法人かながわ森林インストラクターの会
8	NPO法人四十八瀬川自然村
9	NPO法人丹沢森の仲間たち
10	NPO法人自遊クラブ
11	なかい里山研究会
12	中津川仙台下クラブ
13	NPO法人日本の竹ファンクラブ
14	NPO法人楽竹会
15	NPO法人山崎・谷戸の会
16	すべて良かった

## 市民事業交流会(来場者)アンケート記入項目

### 設問3. 回答者の市民活動の具体的な活動内容

番号	コメント
1	川のゴミ拾いをしていた
2	県民参加
3	県民参加の下刈、植樹、間伐等

### 設問5. 今後の取組について

1	緑地の購入
2	これから勉強します
3	水と空気を汚さないで、孫たちに良い環境を残す
4	訳の分からない団体に気を配り、進めて欲しい
5	今現在の取組が分からないので意見が言えないのですが、縮小はすべきではないと思います
6	横浜の水質は良いと聞いていた。皆様ががんばってくださるからと思った
7	ボランティア団体の活動をもっと県がPRして欲しい

### 設問6. 本日のイベントについて(満足な点)

1	NPO法人の皆様の熱心な取組の説明を聞いて、改めて関心を持つことが出来ました
2	全然知らなかったのが、知る事が出来ました
3	水源環境を守る市民団体が沢山ある事を知ったから、皆様に感謝します。有難うございます。
4	知らなかったことを知った
5	理解が深まった
6	水資源への取組が分かり易かった
7	水源環境を守るこの様な催しを始めて知り、勉強になりました
8	水を大事に扱っている人は日本では少ないと思うので、良いイベントです
9	職員の方が説明している事
10	色々な物があったので楽しかった
11	皆さん真剣、作品や研究キットが楽しい
12	健康を考え、水を大切に考えてくれている
13	活動をする人達に感謝
14	全く知らなかった事ばかりだったので、少し勉強になりました
15	皆さんが丁寧に説明してくれました
16	説明が良く楽しかった
17	素直で詳しい
18	水資源を守る為の活動を知った
19	熱心に取組をされている点
20	顔の見える様々な活動を都会の人に知ってもらえる

番号	コメント
21	水源の場所等分かりやすく展示していた
22	こういう団体があると言う事が素晴らしいと思う
23	パネルが良かった
24	水・森について少し分かった
25	この様な活動を知らなかったので、知れてよかった
26	分かり易い説明でした
27	沢山の活動がある事を知った
28	詳しく説明されて分かり易かった
29	生物が見れた事
30	水源環境を守る為に多くの団体が活動している事を知ることが出来ました
31	県内の市民団体が分かりました。説明も聞けて、皆様色々活動されていて頼もしいなと思いました。
32	各団体活動の方とお話が出来て、具体的な内容を知れて満足しました
33	手に取って色々確認できた
34	説明が分かり易い
35	自分が飲んでいる水の大切さが分かったこと
36	こんな活動をしていることを知れた
37	職員(女性)の説明が良くわかり、自然と木、水の意味が分かりました
38	様々な団体の活動を知ることが出来た
39	話を聞いて大変さがわかった
40	子供が楽しそうだったので
41	各自治体で色々な活動をしている事や、水源税の事を知れた
42	人出が予想していたより多かった。ゆるキャラが大活躍
43	活動を知るきっかけになった
44	楽しかった
45	各団体の活動を知ることが出来た
46	活動者の熱い思いが感じられた
47	水についてあまり考えたことがなかった
48	都市部で活動している当会と、水源地域のNPOと連帯出来る可能性が見えてきた
49	活動を知れた
50	知らない事を知ったから
51	展示が分かり易かった
52	内容が分かり易くて詳しい
53	活動について知れた事
54	税金で1,000円払っていたのを始めて知った



番号	コメント
55	大切な飲水が守られていると感じた
56	水源はこれからも守っていかなければと思った
57	活動状況が理解出来た
58	活動されている方と直接話が出来たこと
59	内容が詳しい
60	様々な活動が分かり易く展示されていた事
61	ためになった
62	皆さんが間伐等を良く行っている事
63	花や水の大切さを了解した
64	今まで知らなかった
65	沢山の展示があり、とても可愛かった
66	色々な人達が森や水を守り、活動している事を知り、いい機会でした 楽しみながら交流出来て、役立てる事は良いなと思いました
67	水源環境の事は知らない人が多いと思われます
68	知らなかった事を学べたから
69	森林、川を大切にしている活動を知り、生活を変えようと思います
70	水源を守るため不法投棄をさせない清掃も重要と分かった点
71	レイアウト
72	シカについて話し、面白かった。川の整備は大変と知った

#### 設問6. 本日のイベントについて(不満な点)

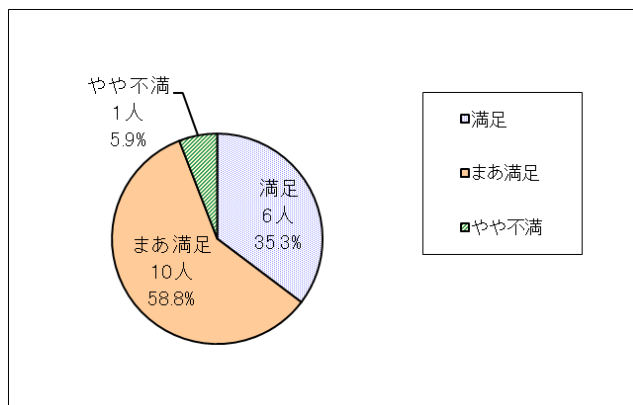
番号	コメント
1	混んでくると、パッと見では理解出来ない
2	場所が狭かった
3	ビデオやメディアをもっと活用できればリアリティが沸きます
4	現実的に何を活動しているのか分からない団体がある
5	森林を良くして欲しい
6	映像もほしい
7	若い人が少ない、興味を持ってもらうべき相手の心に響かない
8	マイクがうるさい
9	もう少し子供が参加できるイベントがあっても良かったと思います
10	地味でした
11	水源税の有効な活用と読みきれれば、趣味の団体とおぼしきものあり
12	説明が足りない
13	声を大きく、通っている人にアピールした方が良い
14	通行人を呼び込むイベント

## 平成25年度市民事業交流会 アンケート集計結果(出展団体)

今後の取組の参考とするため、交流会に参加いただいた市民団体にアンケートをお願いし、ご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…17枚 (市民事業交流会出展団体：15枚 意見交換会のみ参加団体：2枚)

### Q1 本日の交流会(市民団体活動展)はいかがでしたか。



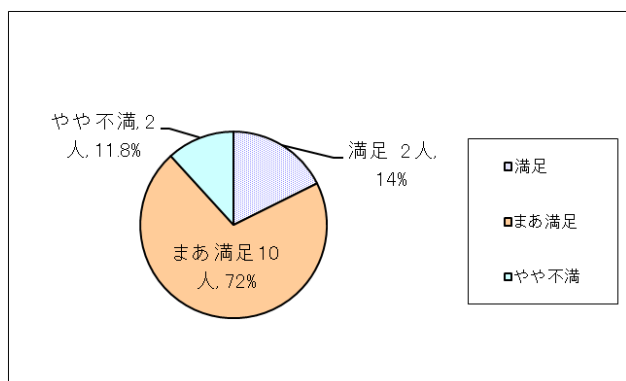
#### 満足できた点の主な意見

- ・水を大切と考えている県民との出会いの場になり、会話を通じて啓発できた。
- ・展示パネルの他に説明用の実物、実演が出来てアピール出来た。
- ・参加された各団体の多面的な熱い活動を知る切り口となった事。
- ・インタビュー。
- ・ブースに立ち寄ってくださった方々と話すことができ、水源環境に興味を持っている人がたくさんいることが分かった。

#### 不満だった点の主な意見

- ・竹扱い団体の隣接があり、配置の再考。
- ・団体が何をされているのかを知る時間が欲しかった。
- ・イーゼル等を貸出して欲しい。
- ・開催時間が長い。
- ・事前説明会を開き、万全期するべき。
- ・インタビューの趣旨は良かったが、ほとんどの人が聞いていなかった。
- ・立ちっぱなしだったので、疲れた。イスがあった方がよい。

### Q2 本日の交流会(意見交換会)はいかがでしたか。



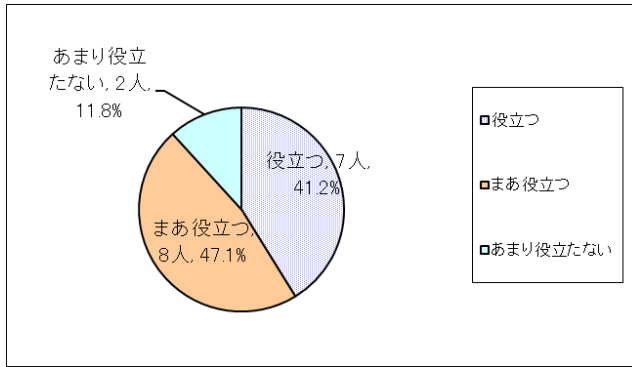
#### 満足できた点の主な意見

- ・ワールドカフェを実践できたこと。これからワークショップ時にこの手法を取り入れます。
- ・自分たちの抱えている問題点を知ることができた。
- ・他の団体と話し合えた事と、改善要望の話し合いができてよかった。
- ・斬新な試みの中で他団体との意見交換ができた。
- ・今後の活動に生かせそうなアイデアをもらうことができた。

#### 不満だった点の主な意見

- ・それぞれの団体がどんな事をやり、問題点として何があり、どう対処しているかなど知りたかった。
- ・目的がなんであるか不明確である。
- ・テーマとは関係ない雑談が多かった。

**Q3 本日の交流会は今後の活動に役立ちますか。**



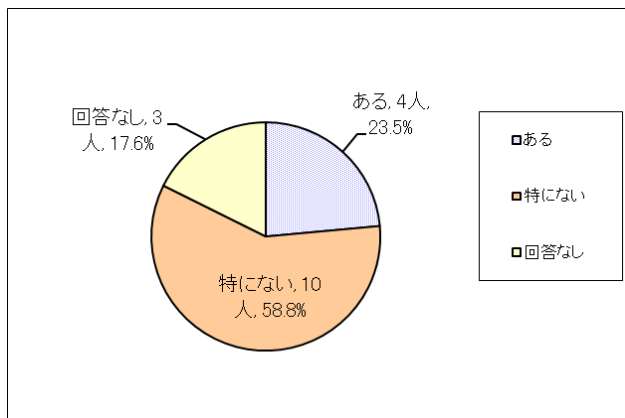
**良かった点の主な意見**

- ・資金面では団体共通事項で、参考になる。他の団体の情報が聞け、自分の団体運営の参考になった。
- ・ブースに展示した物の反響が分かり、今後の展開の参考になった。
- ・多岐の分野で実践活動に取り組む団体間の交流の場ができた事。
- ・急展開は見込めないかもしれないが、少しずつ認知され、変化が出てくると思う。

**悪かった点の主な意見**

- ・技術面の団体との交流がなかったので、技術面を重視した組み方も必要では。
- ・立ち話での対応となり10時～16時30分の長時間は疲れる、椅子が欲しい。

**Q4 出展内容が特に良かった団体はありますか。**



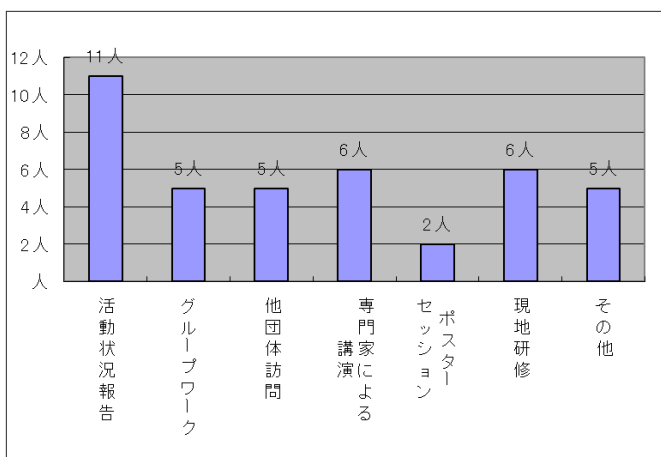
**良かった団体と主な意見**

- ・NPO法人神奈川県環境学習リーダー会  
→きれいな川に住む小さな水性生物を実体顕微鏡で実際に見て頂いていた事。
- ・NPO法人日本の竹ファンクラブ  
→説明資料もまとまっていて、展示品もあり良かった。
- ・NPO法人海の森・山の森事務局  
→パネルでのアピールが印象的であった。
- ・丹沢森林環境研究所  
→水質調査を使い分かり易く実演できた。

**その他意見**

多様なジャンルの活動団体が出展している事から、良否の判断は意味がない。

**Q5 今後、交流会を開催する場合、どのような内容を希望しますか(複数回答可)**



**その他で寄せられた意見**

- ・今回のようなワールドカフェ。
- ・県側の意見なども聞きたい。
- ・もり・みずカフェ開催の事前協議会と併せて交流会を行う。
- ・団体全体での意見交換会。
- ・神奈川県の水源環境保全・再生にかかわる市民活動のあり方のグループワーク。

**Q6 その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。**

**寄せられた主な意見**

- ・来場者は高齢者が多かった。若い方の来場する場所の選定が必要。
- ・会場は良い場所でしたが、各団体の占有面積が狭く、PR掲示物が出せなかった。
- ・学校への出前授業でPR活動を行って欲しい。
- ・行きかう人を誘い込む事の難しさを痛感しています。定年後の男子が次の生きがいに自然との共生を含めて、活動をする機会作りをしたいと考えている。
- ・活動展に関しては、全体的な統一が見られなかった。また、税金によって県から補助金を頂いている団体の集まりであることが、一般の方々に分かりにくかった。補助金申請の際プレゼンの様なものが、一般の方たちに向けて行われるような場があっても良いのではないかと。
- ・意見交換会に関しては、横の連携と築ける場が欲しかった。団体がどの様な手法で活動しているのか、またどのような問題を抱えて、どの様に対処しているか等を、具体的に知ることのできる場も欲しかった。時間を十分に取った意見交換会の開催を希望します。
- ・農繁期を避けて頂きたかった。活動が最も忙しい時期で、人員不足になってしまった。
- ・インタビューは、簡単な舞台などを作って行った方が良かった。誰が何処で話をしているのか分からなかった。
- ・各団体発表者用に、椅子があると良かった。
- ・各団体のブースとの境目が曖昧で、他の団体の事を聞かれる事もあった。何のイベントをやっているかアピールのアナウンスを流しても良かったのではないかと。
- ・展示方法に制約があり自己特色が出せなかった。事前調整を行い(各団体の展示方法の意向を聞き)、効果ある魅力ある展示方法を展開すべき。長時間立ちっぱなしで疲れたので、椅子を用意するか、休憩場所の確保が必要(休憩所でのコミュニケーションも必要)。
- ・団体活動紹介インタビューは、当事者しか聞いていないので、不要だと思う。
- ・意見交換会の充実をお願いします。他の団体の運営方法や、会費、会員増加対策、色々と工夫している事柄、困っていること等が話し合えるようにして欲しい。
- ・すぐ近くにスピーカーが設置されていた為、インタビューしている時は煩くて説明が出来なかった。一日中立っての説明だった為、休憩用のイスが欲しかった。
- ・多くの人達にブースに立ち寄ってもらい、活動を紹介する事が出来た。他の団体の出展内容をじっくり見られなかった。
- ・交流会は、今後も実施して欲しいが、開催時期、会場等について、関係団体間の意見集約の場をセットして欲しい。
- ・もう少し広い展示ブースを希望します。
- ・展示スペースが狭すぎる。荷物置き場や休憩所があった方が良い。
- ・アンケート回答者に配るものは、選択肢を無くして、森林に対する関心を惹くような物を用意してみてもどうか。

## 平成 25 年度市民事業交流会 ワールド・カフェ出された主な意見

### 第 1 ラウンド 【現在実施している活動をより発展させていくためには、何が必要か】

- ・継続する為にも、人員を確保する上でも、活動資金がないと継続も出来ないし、人も繋ぎとめることができない
- ・会員に対する、わずかな報酬
- ・補助金は半期で精算して欲しい
- ・食費は常識的な範囲として認めて欲しい
- ・寄付金、助成金にたよりすぎない
- ・理念（ミッション）が大事
- ・問題意識の共有
- ・ボランティア（手弁当）では人材があつまらない
- ・食糧費が削られたのはきつい（水は出すがお弁当までは難しい）
- ・情報発信
- ・継続する人を集める。学生など若い人。大学のゼミ。タダでは来ない。
- ・活動の継続。会員同士の交流。会員の確保。人集めをどうするか。
- ・意見の違う人が集まる→魅力ある会にする。
- ・コミュニケーション（他人の意見を否定しない）
- ・お互いを認め合う。否定しない。

### 第 2 ラウンド 【それらを実現するため・実行するためのアイデア】

- ・目標の共有
- ・ネットワークの確立
- ・助成金の活用→行政を活用する→地域とのコンタクト
- ・自治体の補助金等を積極的に活用
- ・行政からイベントの委託→資金にする
- ・効果の評価を行う
- ・企業へのアプローチ、企業CSR活動とのマッチング
- ・企業も社員をボランティアとして出している＝金と人材
- ・中小企業も支援するところがあるかもしれない
- ・都市部の人を森へ呼ぶ
- ・震災の後は子供のために環境に関心が高くなっている。特に母親の意見が高い  
→小さな地域単位で子供づれをターゲットにイベントを行う
- ・イベントを開催して人を集める
- ・農業再生→特産物販売→資金を得る
- ・整備だけではなく、物づくりも→人との交流、製品の販売利益
- ・アイデア募集
- ・意見交流
- ・竹林の整備とともに竹細工の教室を開催→資金を得る